

# 塾人社 四択問題 【歴史 江戸時代 1】

設問 1	1603年、徳川家康は征夷大將軍(せいいたいしょうぐん)に任ぜられて、江戸幕府を開いた。この時、豊臣氏はどうしていたか。	
選択肢	1	豊臣秀吉が病床であった
選択肢	2	徳川に従い友好的だった
選択肢	3	豊臣氏は滅亡していた
選択肢	4	争いは続いていた
正解		
解説		

設問 2	徳川家康が率いる東軍と、石田三成が率いる西軍が、1600年に戦った天下分け目の戦いと言えは何。	
選択肢	1	関所の戦い
選択肢	2	岐阜の戦い
選択肢	3	大阪冬の陣
選択肢	4	関ヶ原の戦い
正解		
解説		

設問 3	江戸時代は何年続いたか。	
選択肢	1	約60年間
選択肢	2	約180間
選択肢	3	約260年間
選択肢	4	約350年間
正解		
解説		

<b>設問 4</b>	家康が力をつけた理由としておかしいのはどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	秀頼(ひでより)の後見としての大老だったから
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	秀頼(ひでより)の後見としての奉行だったから
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	朝鮮出兵をしなかったから
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	秀頼(ひでより)の後見としての大老の筆頭だったから
<b>正解</b>		
<b>解説</b>		

<b>設問 5</b>	江戸幕府の基礎は何代の頃に確立された。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	3代の秀忠(ひでただ)
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	3代の家光(いえみつ)
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	3代の慶喜(よしのぶ)
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	2代の家光(いえみつ)
<b>正解</b>		
<b>解説</b>		

# 塾人社 四択問題 【歴史 江戸時代 1】

設問 1	1603年、徳川家康は征夷大將軍(せいいたいしょうぐん)に任ぜられて、江戸幕府を開いた。この時、豊臣氏はどうしていたか。	
選択肢	1	豊臣秀吉が病床であった
選択肢	2	徳川に従い友好的だった
選択肢	3	豊臣氏は滅亡していた
選択肢	4	争いは続いていた
正解		4
解説	1603年の時点では、豊臣秀吉は既に死んでいた。設問2の関ヶ原の戦いで家康が勝利したあと、江戸幕府は開かれたが、その時点では豊臣氏はまだ争っていたんだよ。	

設問 2	徳川家康が率いる東軍と、石田三成が率いる西軍が、1600年に戦った天下分け目の戦いと言えば何。	
選択肢	1	関所の戦い
選択肢	2	岐阜の戦い
選択肢	3	大阪冬の陣
選択肢	4	関ヶ原の戦い
正解		4
解説	岐阜県の関ヶ原で戦った徳川方(東軍)と三成方(西軍)の戦いは、徳川方の勝利であった。これから3年後に、家康は江戸に幕府を開くのだね。	

設問 3	江戸時代は何年続いたか。	
選択肢	1	約60年間
選択肢	2	約180間
選択肢	3	約260年間
選択肢	4	約350年間
正解		3
解説	家康から始まる江戸時代は、15代將軍慶喜(よしのぶ)が大政奉還(たいせいほうかん)する1867年まで続いたんだよ。	

<b>設問 4</b>	家康が力をつけた理由としておかしいのはどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	秀頼(ひでより)の後見としての大老だったから
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	秀頼(ひでより)の後見としての奉行だったから
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	朝鮮出兵をしなかったから
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	秀頼(ひでより)の後見としての大老の筆頭だったから
<b>正解</b>		2
<b>解説</b>	豊臣秀吉が亡くなったあと、跡継ぎになった秀頼(ひでより)はわずか6歳だった。だから実際の政治は、5人の大老(たいろう)と5人の奉行で行ったんだ。その中で一番偉かったんだね。それと朝鮮出兵では、兵を実際に朝鮮には送らなかったの、勢力を保っていたんだ。	

<b>設問 5</b>	江戸幕府の基礎は何代の頃に確立された。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	3代の秀忠(ひでただ)
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	3代の家光(いえみつ)
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	3代の慶喜(よしのぶ)
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	2代の家光(いえみつ)
<b>正解</b>		2
<b>解説</b>	慶喜は15代で最後の将軍だね。また秀忠は家康の子で2代目、家光は孫にあたるよ。	